

# 尊光寺報

第140号  
令和5年12月

徳島県阿波市市場  
町大野島字天神41  
尊光寺

## 慶讃法要にぎやか

### 宗祖親鸞聖人報恩講法要ならびに 御誕生850年・立教開宗800年、 尊光寺諸堂修復完了慶讃法要

十二月十六日、十七日の二日間、浄土真宗の宗祖親鸞聖人のご命日を縁とする報恩講法要と、親鸞聖人の御誕生850年、浄土真宗の教えがあらにされてから800年の法要、尊光寺諸堂修復完了の慶讃法要が勤められ、尊光寺には多くの参拝者が集い、一同お念仏を申し、み教えとともに喜びました。

法要は十六日の午後一時の報恩講法要昼座のお勤めから始まり、主に今回の報恩講執行当番である市場西組（中町・北町・通町東・通町西・南町・流・香美）のご門徒の皆さま、お集まりの多くの方々とともに、「正信念仏偈」（行譜）をお勤め。ご法話は、ご講師の片山英道師（善通寺市源正寺）からお聞かせ頂きました。

片山英道師は、源正寺住職をされながら、本願寺派布教使として全国各地に布教に出られています。家庭にあつては小さなお子様の育児にも奮闘中です。また青年僧侶の会では、一緒に活動をしており、日常の話を例に、仏さまのお慈悲を分かりやすく丁寧に、時に笑いを交えながらお伝えくださいました。

### 十六日の夜

座の前には、お齋（食事）をお当番の皆さんやお参りの方と一緒に頂きました。メニューはバラ寿司と酢の物、味噌汁。どれもおいしく、ご講師もおかわりをするほど。大変好評でありました。



ご講師の片山英道師

お当番で大変なのが翌日十七日お昼のお齋（食事）の準備です。精進料理が参拝の皆さまに行き渡る数を用意しなければなりませんので、前日のこの日から食材の調理などにご奉仕をいただきました。忙しいような調理場でしたが、ご近所の皆さま同士、また初めて顔を合わせる者同士でも、楽しみながら和気藹々と調理してくださる姿が印象的でした。



16日夜座前のお齋（食事）

六時からの夜座大速夜法要では、親類寺である上板町の明照寺さまを導師に迎えて「日没礼讃偈」をお勤めいたしました。その後、副住職が親鸞聖人のご生涯を絵と言葉で記された「ご絵伝」、「御伝鈔」をスクリーンを使いながら解説。このたびは、親鸞聖人が念仏禁止によつてご流罪になる場面から関東の地で「正信偈」をご執筆になった頃までの話をいたしました。つづいて、ご講師より大速夜布教を頂き、最後に「正信偈」速読のお勤めをして夜座を閉じました。



16日夜座（大速夜法要布教）

十七日は午前十時より、報恩講ならびに門徒総永代経法要をお勤めいたしました。総永代経は過去帳に載る有縁の方すべてを追悼する法要で、特に戦没者数とこの一年でご往生された方々の法名・俗名を読み上げ、そのご遺徳を偲びました。お勤めは「仏説阿



燈樹（1才3ヶ月）も一緒に

弥陀経」。法要の後は、副住職が「ご絵伝」「御伝鈔」の解説。この席では、親鸞聖人とその命を狙いにきた山伏弁円との出会い、弁円が改心し浄土真宗に帰する姿の解説をいたしました。つづいてご講師から法話を頂きました。

お昼にはお当番の方々が丁寧に準備くださったお精進のお齋（昼食）をいただきました。最近はお齋を食べる機会が少なくなつた本格的な精進料理をおいしく頂きました。

午後一時からの法要は、浄土真宗本願寺派近隣寺院の方々にもお出仕を頂き、いよいよ報恩講ご満座法要ならびに親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年、尊光寺諸堂修復完了慶讃法要をお勤めいたしました。行事鐘がなる中、諸僧入堂し、住職が導師を勤め、「正信念仏偈」（十二礼の節）を太鼓で調子を取りながら一同で唱和し、賑やかなお勤めになりました。



法要で表白を読み上げる住職

法要の趣旨を仏さまに告げる表白（ひょうびやく）では、親鸞聖人によつてあきらかにされた浄土真宗のみ教えが、たしかにこの私まで届いていることを喜び、尊光寺諸堂が新しく整えられたことは、歴代住職ならびに有縁の門徒の皆さまの一方ならぬご懇念のたまものであることを感謝し、お念仏に出遇えた喜びが一人でも多くの方に伝わるよう僧侶門信徒一同、より一層励んでまいることをお願いしました。

締めくくりの法話はご講師より、阿弥陀如来の願が、有縁の方を通して、この私に届けられているということをお丁寧に分かりやすくお伝えをいただきました。

おかげさまで満堂の本堂でもお念仏を申すことができました。



締めくくりのご法話

# おかみそりの儀（帰敬式）

法要後、本堂にて帰敬式（ききようしき）が執行されました。帰敬式とは、ご本山の御門主さまより、頭におかみそりをあてて頂き、浄土真宗門徒としての自覚を新たにし、法名を拝受する儀式です。おかみそりをあてるのでおかみそりの儀とも言います。本来は本山でのみ儀式が行われますが、このたびはご本山より御門主さまのお手代わりに出向いただき、尊光寺本堂で儀式を行いました。

法要後の本堂に式を受ける方々が整列し、ご本山の僧侶より式の説明を受けます。式に臨むのは三十三名。尊光寺の他にも、県内の本願寺派寺院のご門徒も数名、式に臨みましました。式は堂内の照明を落とし、灯明の明かりのみで行います。これは宗祖親鸞聖人が出家の際、夜におかみそりを受けられたのに由来するそうです。

御門主さまのお手代わりの導師がご本尊の前で焼香・合掌礼拝の後、三帰依文を称えます。三帰依文とは、「南無帰依仏」と「南無帰依僧」ともに仏道を歩む仲間たちの僧伽の三つに帰依を表明するもので、全世界の仏教共通の入門の言葉です。導師にあわせて受式者も三帰依文を称えます。

次におかみそりが頭にあてられます。合掌の姿勢をとった受式者の後ろからお導師がかみそりを頭にあてていきます。僧侶が出家の際に剃髪をしたことに倣って行いますが、帰敬式では髪の毛が剃られることはありません。

おかみそりが終わると、法名を頂きます。今回は代表して檜原益男さんが法名を拝受しました。

つづいて、決意を述べる帰敬文（ききようもん）を門徒総代長の村憲明さんが述べました。

ついで、お導師よりご教諭を頂き、法名を頂くことの意義、今後ますます仏法聴聞に努めていただきたいと、お言葉を頂戴しました。最後は一同合掌礼拝をして式は閉じられました。



おかみそりをあてるお手代

式の後、ご本山の僧侶より法名の説明などがあり、お一人に住職から法名をお渡ししました。

法名は、浄土真宗門徒としての自覚を新たにし、阿弥陀如来のお救いを拠り所として人生を歩んでいく者のお名前です。ご自身の第二の名前として大切にしてください。今回、法名をお受けする機会に恵まれ、有り難い経験になったと感想を寄せてくださいました。



帰敬文を読み上げる中村総代長

今回受式になれなかつた方も、ご本山で受けることができますので、ぜひご相談ください。

## 法要・行事のご案内

### ◎ 除夜の鐘

【12月31日】午後11時半頃より

どなたさまでも一緒に鐘をつきましよう。

### ◎ 春の彼岸会永代経法要

【3月20日（水・祝）】午後1時より法要・法話

【3月21日（木）】午後1時より法要・法話

※21日は仏教婦人会総会予定しています。会食を11時半より、準備お手伝いは9時頃よりお願い致します。

### ◎ ご本山参拝旅行（予定）

【日帰組】5月26日（日）費用1万5千円

【一泊組】5月26、27日（日・月）費用4万円

ご本山の参拝と大谷本廟への分骨納骨をいたします。

日帰組は、本山参拝の後に京都観光予定です。

一泊組は、本山参拝の後、岐阜県長良川で鶺鴒鑑賞と観光の予定。

どうぞご予定ください。詳細は次の寺報でお知らせします。お申し込みは尊光寺まで。

## 副住職担当、徳島新聞カルチャー教室のご案内

各講座、受講生募集中です。

### ■ 仏教講座『正信偈（しょうしんげ）』

「きみようむりようじゆによらい」。浄土真宗で一番よく親しまれてきた「正信念仏偈」をテキストに、インドから中国、日本へと伝わった仏教の教え、念仏とは何かを一緒に学んでまいりましょう。

● 毎月第3金曜日 10時半～12時 月額 3300円

### ■ 親鸞聖人と『歎異抄（たんにしよう）』

「悪人こそが救われる!?!」『歎異抄』には昔から多くの人々の心をひきつけてやまない言葉がつまっています。人間らしい矛盾を抱えながら生き抜かれた親鸞聖人の言葉を丁寧に読み解きあじわってまいりましょう。

● 毎月第2月曜日 13時半～15時 月額 3300円

### 【教室・申込先】

徳島新聞カルチャーセンター 徳島本校

TEL 088-611-3355

徳島新聞カルチャーセンターは、徳島本校

校（川内）と徳島駅前校（アミコ九階）がひとつになり、徳島駅前アミコビル七階に移動し、新しく徳島本校としてスタートしています。



Tokushima Shimibun CULTURE CENTER

## 令和6年 年忌表

令和6年の法事と亡くなった年

1周忌	令和 5(2023)年
3回忌	令和 4(2022)年
7回忌	平成30(2018)年
13回忌	平成24(2012)年
17回忌	平成20(2008)年
25回忌	平成12(2000)年
33回忌	平成 4(1992)年
50回忌	昭和50(1975)年
61回忌	昭和39(1964)年
100回忌	大正14(1925)年
150回忌	明治 8(1875)年
200回忌	文政 8(1825)年
250回忌	安永 4(1775)年
300回忌	享保10(1725)年

過去帳やお位牌をご覧ください。



2024（令和6）年  
**尊光寺 行事案内**



3月20日	午後 1時	ひがん ええいたいきよう 春の彼岸会永代 経 法要
3月21日	午後 1時	ひがん ええいたいきよう 春の彼岸会永代 経 法要 (仏教婦人会総会を兼ねます。会食準備9時～、会食11時半～、法要1時～)
5月 1日	午前10時	しゅうそしんらんしようにんごうたん え 宗祖親鸞 聖 人降誕会法要
	続いて午前中	もんしんと そうかい 門信徒総会、会食 (会食準備お手伝い下さる方は9時頃よりお願いします。)
5月26日（日帰りは5/26）	ご本山参拝と大谷本廟納骨法要 (1泊は5/26-27 ご本山の後は岐阜県長良川方面へ)	
8月15日	午後6時頃	うらぼんえ 孟蘭盆会法要
9月22日	午後 1時	ひがん ええいたいきよう 秋の彼岸会永代 経 法要
9月23日	午後 1時	ひがん ええいたいきよう 秋の彼岸会永代 経 法要 (仏教婦人会老人ホームお接待 準備9時～)
12月14日(土)	午後 1時	ほうおんこう 報恩講法要
	午後 6時	ほうおんこうおおたい や ごでんしよう 報恩講大速夜・御伝 鈔 拝読
12月15日(日)	午前10時	そうえいたいきよう 総永代 経 法要
	午後 1時	ほうおんこう ごまんざ ごでんしよう 報恩講御満座・御伝 鈔 拝読
12月31日	午後11時40分	じよや え 除夜会（除夜の鐘）
1月 1日	午前 0時	しゅしよう え 修正会
毎月15日	午後 夕刻	しゅうそがつきたいや 宗祖月忌速夜法要
1月 9日～16日	ご本山御正忌報恩講法要	

※ その他の行事は随時お知らせ致します。  
 皆様のご参拝をお待ちしております。

